

○陸前地方ニ發セシ強震前ニ於ケ

ル磁力變動調査報告

本會囑託員大石和三郎ヨリ別紙ノ通陸前地方ニ發セシ強震前ニ於ケル磁力變動調査報告候ニ付提出候也

明治三十三年五月二十一日

委員 和田雄治

震災豫防調査會長理學博士菊池大麓殿

(別紙)

本月十二日午前二時二十分陸前地方ニ起リタル強震以前ニ於ケル磁力變動調査致シ候處之ニ近接シテハ前ニ著シキ變動モ無之候ヘドモ是レヨリ六日以前即チ五日ヨリ六日ニ亘リテ全國各地トモ非常ナル磁氣嵐ヲ現出致シ候此磁氣嵐ハ今回ノ強震ト直接ナル關係アリヤ無シヤハ容易ニ斷定致シ難キモノニ有之候ヘドモ其狀況ハ別紙ノ通り有之候間右一應及報告候也

明治三十三年五月二十一日

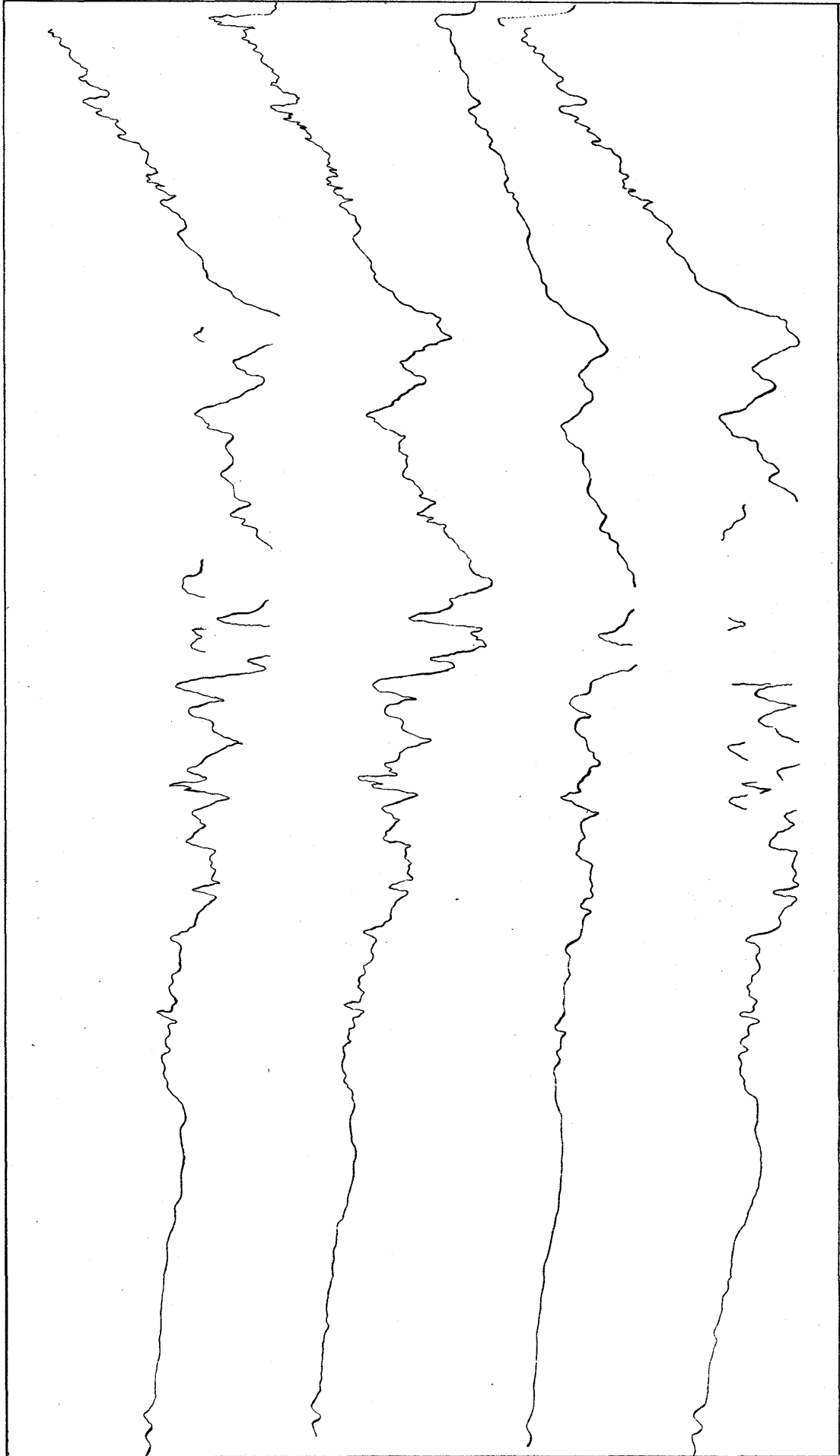
震災豫防調査會囑託

大石和三郎

五日正午

水平分力

六日正午



熊本

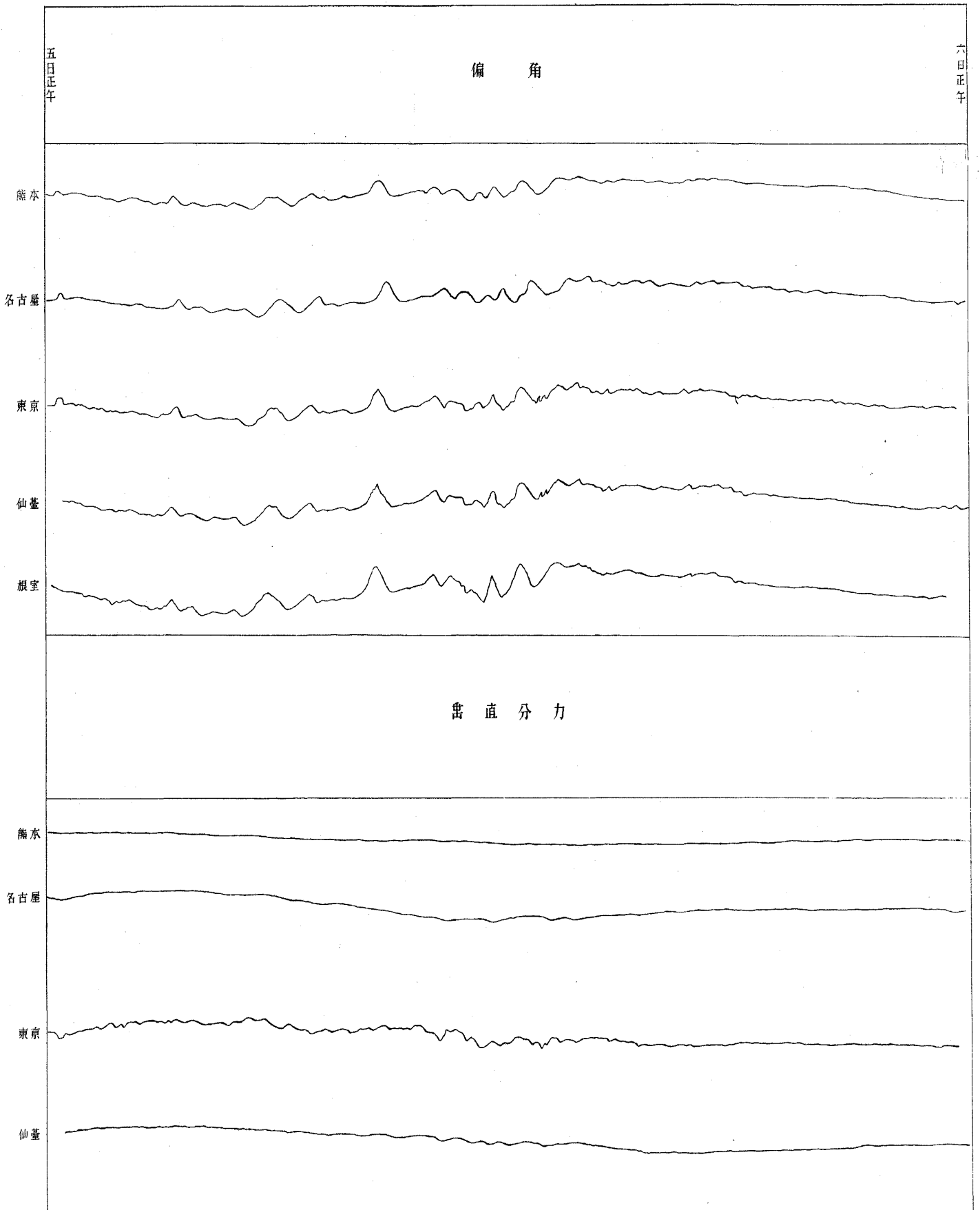
名古屋

東京

仙臺

# 地磁気要素ノ変化

五月五日正午ヨリ同六日正午ニ至ル



曩ニ本會ニ於テ名古屋仙臺根室熊本ニ設置シタルマスカ  
ール式自記磁力計ノ印象研究ニ就テハ今尙ホ調査中ニ在  
ルヲ以テ他日ヲ期シテ報告セントス茲ニ提出スル所ハ嘗  
テ本會囑託員理學士本間義次郎カ中央氣象臺設置ノ同式  
磁力計ニ就テ東京ニ於ケル磁力ノ變化ト地震ノ關係ヲ調  
査シタルモノニシテ未タ完全ナル結果ニハ非ラスト雖モ  
蓋シ其一斑ヲ窺フニ足ラント信ス謹テ報告ス

明治三十年十二月

委員 和田 雄治

震災豫防調査會長理學博士菊池大麓殿